

病害虫発生速報

令和8年8月20日
第6号

対象作物：おうとう

発信元 山形県病害虫防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

**題名：褐色せん孔病の発生が急増しています！
被害拡大防止のため、薬剤防除の徹底を！！**

1. 発生概況及び今後の予報

- (1) 8月後半の巡回調査(8月17～19日)の結果、平均発病葉率は30.2%(平成:18.6%、前年:24.1%)とやや高く、前回調査(8月3～5日)の平均発病葉率(13.4%)から急増している(図1)。一部では、黄変落葉している園地が確認されている(写真1)。
- (2) 向こう1か月の天候は、気温が高く、降水量は多いと予報されており、降雨による感染の拡大が予想される。

2. 防除対策

- (1) 発生が見られる園では、直ちに薬剤散布を実施するとともに、発生状況に注意して、10～14日間隔で薬剤散布を実施する。
- (2) 発生が見られない園でも、降雨により発生が急激に拡大する恐れがあるため、園内をよく見回り、薬剤散布を実施する。
- (3) 9月も感染・発生を繰り返すため、薬剤散布に当たっては、徒長枝や樹冠上部の葉まで薬液が付着するよう十分な量の薬液をていねいに散布する。なお、薬剤散布予定日に降雨が予想される場合には、計画を前倒しして降雨前に散布する。
- (4) 薬剤散布に当たっては、翌年の収穫までの総使用回数を考慮して薬剤を選定する。

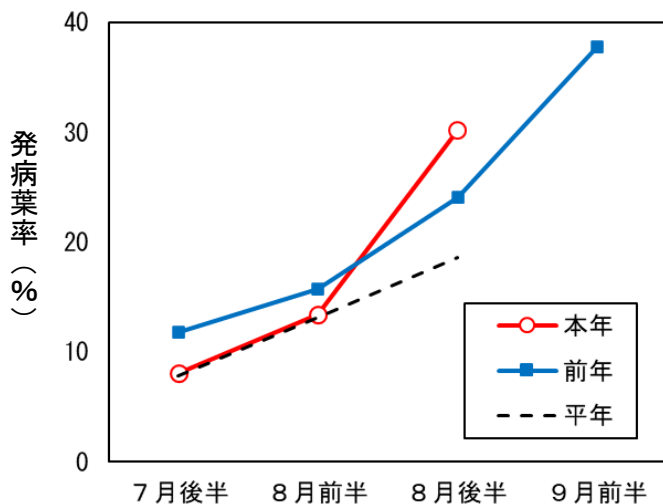


図1 巡回調査における平均発病葉率の推移
(注) 9月前半の平年値なし



写真1 黄変した発病葉
(令和8年8月17日撮影)

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準(適用作物、収穫前使用日数、使用回数等)を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。